原則を根本方針としたもので

見かあり、省を懸合しても所謂馬

那が苦衷を訴ふ

名酯は、必ず紙上一段の光彩を放つ事と信じます

が尤もだとうなづくことであ 神社を中心に思想統一、能で

天地玄黄

なつた。この小説『母の良人』は、たまり

高宗武氏蔣氏の意向を傳達

川越大使猛省を促す

以將介行氏部見は加論、川越大使

蔣介石 南昌より九江

指示を奥へたものは五千ドルの質目的を以て犯人及び職衆諸述期に 意に確定となってみるが、

も早く言へ、然らば夜は不朽の

五千弗賞金

(上海廿八日同盟] 支那興情報に

総合団策の企芸伽立機関

と類せられる

改文を排記した、

陛下に

た、渡部市長は直もに行在

の希崎歌に吹いで市民は

としても破後の帰郷な決急を聞い、 関としても破後の帰郷な決急を聞い、 のつく英雄祭なき勧張をたつべき

遠は山のをつくらせ、私歌の玄

旨を述べ、次にヨーロッパ小温質

難の手は固かせようとした 粒が解けて、

がない。 がない がない がない

局長出席(大野城汚絶監訳席)に呼から第三歯経訟で開總管以下 **恒定例局長館議は二十九日午間**

いで増水法務局援から先股の風

ドリッドに於ける總攻艦を含した 【ブルコス二十七日同盟】首都マ

に動員令を下す モラ將軍が壯丁

をたべたとて、胸が舌しいなど

いか。おころもズ

虚して、わ ことではた

萱生暗殺事件

犯人逮捕の經緯

海公安局が發表

南總督あす京畿道

歳以上四十四歳以下の出了

小姓類の際色がから

050

見せやと云 でしも味かし 見てゐる都と

ががを無心せられ次形々々に動いからの含め如何なる必然の高

の後の情感を迷惑してゐるが、支「育相は大脈脈所觀を取止め、東京の後の情感を迷惑してゐるが、支「育相は大脈脈所觀を取止め、東京 の世大化に養み、大演書階級のたつよあり、現在の情勢よりしても、東京部語)佐田貞相は支那陸幽。事態に立至り繁直の陸を結る加へ

ル順に低然反省の色なく南國州孫

に止つて有田外相、

部から首相に提示の

構改革案の内

骨子に於て陸海軍

ラトビヤ政府も全本位職院を決急 ロンドン二十八日同盟】エクス

金本位離脫

陪觀を取止め

は年間十時五十分とり首相宮殿になれて明治、岡田首相以下各盟のとないて明治、岡田首相以下各盟の

、東京伝統コーナル日の定例

定列閣議

相、則田臨村、林法相など無行

激した日支交渉における支那側の 席)まづ有田外相より重大時局に

をグッと用いた

枝

曾 作

903

大子の題の

トピアも

政機構改革に對し

は頗る消極的

百腦部は極度に苦慮

統合し事務の連絡統制間易化を

本方針

あるから、難ひ各省大臣は各省大

從つて各部長点は

軍としては大局的見地からこれが

前田河版一郎氏は十九歳で渡米スクー

民は今何本派のために筆をとるに當り、その一本心を翻 **にしようとし、しかも「童心に立返つてもう一度人間と**

もある、他して削配各部は現在の

立場が重きをなすに至るものと目

なる無調を源はれてゐる期田祁语一郎氏作 引ついき本紙はわが文型の説符として雄助 に聞くも近く完結を見ようとしてゐます。

『春を待つもの』は愛麗清詩歌の際狂神

算期線を内閣に終すべしとの意思。一も幾多の離機が重想されるが、 大農以上の如く無せられるが、右

高質(上は) 寺内隆相(下は)永野海相

【東京電話】 歴史。 新衛行動提の必須保保として、内配機構改革関連につき継承 省では去る六月寺内 陸相より 医田首相に對し

で、陸軍省は航空電影遊職部を中心として全面的に海車相以下。政府側から其限的。第里連提出の緊急があつたの相以下。政府側から其限的。第二世紀十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 その大綱につき出手を以て意見を提出したが、その後自

の元原工規模の支配下にあり、 が一貫せる蛇目覚髄の現れであるの形名に唯年の汗税倫祖整事件 が一貫せる蛇目覚髄の現れであるの形名に軽楽の形人艦数事性応目テロ党年氏射殺犯人事水虎、趙紫島 右は慶次の形人艦数事性応目テロ は一貫せるテロ政策を實行しつは一貫せるテロ政策を要行と等は機能のため全力を繋げ之等に対するを確定的に必能せんとってるものである。

の經緯を詳細酸変したが、その接 二十八日夜暫生晴安事性犯人逮捕「上海社入日同盟」上海公安局は

> つて際既に訓酢を行び、それより 時間に置つて京都真勝を観察、は南朝世は三十日午後一時から校

状態を視察、終つて最上で甘酸酐

野から京城局の都市計造に就いて

際館、開城の人参繁草壁を 心を 帯筒、十月二日午町九時京 南總督二日開城へ

近端は、つと正吉の手を取つて「よいから来やといふに。」 Tと仰しやいましてもc

るやらに近難の膝下に跳まった。 つわらははそなたに組みがあるの

『それとも眠から』

をかけて良人と定めた。……」をかけて良人と定めた。……」 てゐたのちやら もつたいない

そつとする 建度

製創士博村柏·醫侍前省內宮

削良のルタカ胃腸

り起る

しぶりばら はきくだし カタル

|朝游洲より入城朝鮮ホテハへ、||旅公皇男(世族院議員)廿九

2.一相互生命齊社紀2.(第一相互生命並

超は恰も飢ゑた地 版画館が現れ

こんな時このヘルプ

れ たのを見ると、正確は色別またの うに、その復興へた置を離のやらに、その復興へた置を離のやらにくねらせて、田吉の青へ顕明み

わらはでは

代せた時だつた。 伏せた時だつた。 符 も下 さいま

▼全國各業店に販賞す▲ 本舗 津村敬天堂

一の防護陣成り

の機音のみ酸々と聞き、

批論事業問題へ答別した、なに京五百国を風水電義指金として朝鮮 沿から干頭の部附があった

東海岸の

得の問題と共に淑智の連絡、工夫活動を続けてゐたが、廿八日夜別 ※信加工務総では地間を登職して海岸一番の通信網の復過について

の配置も無外は用く進功し、同夜

三日間は艦の都市地路翻旋に列路を行う成成。及び京都で十四日かい。

府縣段頭重點物點長外三名計十四,京城府湖岸沒多一郎平氏外九名,

将甲斐北龍吉、挺的は若興吉革の三幅五は同僚代表が赤路、現場

京城府會議員ら

内地都市を視察

十四名が十日に出發

をごうこの作詞者森ほのは、作曲

派にからる、然しこの颱風は連 跡を北にとつてみるといふから 十五ミリの颱風が誕生、徹天逝四百年の海上に中心不度七百四 たが、廿八日初から沖縄の第方 た優勢な高領閣の馬、年齢はこ から頭部一番にかけて纏つてる火し振りに最風の訪れ――北支

一部く真原の秩気に悪まれてあ

せら」とうかがいを立てると

假想・敵機襲來に火蓋切る

けふから

良好な成績

天理教の女布教師

4 町署で 檢舉

解く各単に赴き / 心田問題 / を帰

各派代表蹶起、全鮮に出動す

▲朴飾敬有敬師(蔵北道へ)==

| 本校の表面(品質量へ) ==+月 | 十二日から十月7日まで | 十二日から十九日まで | 十二日から十九日まで | 十二日から十九日まで | 4 十二日から十九日まで | 4 本日 | 11 日から甘日 | 12 () ==+月十二日から甘日 | まで

殿のルッボと化し、府内の各財政 防治師を敷いて肚がなる範囲設置

【毎山富語】釜山の世気時側回路

府民の背政を沿出すると共に 五千の防護員 九百名の願真は明心に、敦徳に全

力を催して奈潔律師の影響のま・「子苑県京上場前では一十十十十年後七時甘五分となるや、総古戦 奈郎教展に辿った。三日副城の機関方に埋るの戦器とよつて収然 上、成真にかける高英城技術地震緊蜒し、奈斯内は完全なな鬼火皆 上、成真にかける高英城技術地震 緊張し、金斯内は完全なな鬼火皆

南鮮防空準備演習 明されて射名され、一概は辛じて 翌山の上空で開発度のクロスに開 数いて八時廿八分再び南鮮一帯に 中華火によつて東北方に退却、八 をとらへて追跡し防脚機関あり組 に 観制の敵機が飛來したが二機は 会別無限は飽せられ、同州三分三 時十三分公職襲報は解除された、 、北方に飛び去り、かくて九時空 二宮少將南鮮へ

解析によって破壊された正成道果

一百圓入りの手提げ

書屋餐

つ排

通信網回復

一回線が不完全である外は全部低中に長前一段時、長前一杆援門の

哲をみた、なほこの一級を甘九日

松電點

からつた時、突然階後から間女

持つて臨木町一五一常山麓前に至ってあた事が平大門警戒に採知され間の現金が入つたハンドバタクを「モロ中海海を網のては戦遠せしめ

娑婆が嫌ひな男

また刑務所へ逆戻り

自標車で突き飛ばしてそのハン

人の道に外れ 詫び證文一札

緑山路の郷土に、ピンと來た副

心間上の風のかなり

右同 右開 一般天氣豫報

形符所へ遊説りした男、廿七日 以城

制造二丁目附近を徘徊する 簡に士儀性の罪狀を土産にし

の間は飛びだよ・・・・・と、僅か

正年二十三度九 正年二十三度九 正年二十三度九

| 月五日から十四日もで | まで | 「大阪市山] 大阪市山 | 大阪市山] 大阪市山 | 留置中の御木が謝罪 役し極事局にもこの言語話した り型づたり [昭日] 同じ…… 京城地方 【今晩】 暗れた MKN 国、西大門和務所へ遊民り は日よっぱりをして裏引、十条代の 物士に早哲りして各商店を訪れて 初所を出るとその足で本町二丁目 不能なって双眼鏡睛関九十四を絡み



手に倒れてゐる二人の男を悶べた 七九日勝京城黄金町六栗島校の製 祖此祭(三)記金録典(こと判明、 **肉名ともカルモチンをのんで倒れ** 匹此薬のんで 倒れる二人男 銀許五ノ三八東門飲食店雇人



内地方面から版々と義和金が樂ま。 智穂低は一千國、大野蛇(称禮鑑は、十七の老腳を近り曲げて記び入つ道の"影響」 道の"影響」 「新聞」に達してかりは勿鑑。 「異聞」に達してゐるが、二十九日 | 今日は鯉つた鶴しよげかへり、六 各所とも兩三日中に完成す

野きでの都線は変年前から前数の一線つた時、二人の子供を課題にし 鐵道局度な取職へを除けてゐる、同女被一般所の契末に人の子供二人が何に なな歌師作本キョで心を被戦・級一却つて聖くさせ、然に続近は西四 れるらしい

布教師となつたキョは信者の家を | て水をかけた結果、数日前二人と

制服づくめ

近く棚託の

その被膨脱液は外企動響 ― 選井 - 選い丸木橋流突は懸急性卵の結果 - 鹿丁事中で帰三日中に完成するが 固の自動地路に卅日に明通、九乱、葉率を抵謝・上金剛山は、月下復 月一日頃明通、選井里 - 神經寺 - 建立る水の製削で被勝道路、透 里間の自動地路は他歩渡鉄中で十二十六日夜米の製削で被勝道路、透 里間の自動地路は他歩渡鉄中で十二十六日夜米の製削を被勝道路、透 里間の自動地路に使り渡鉄中で十二十六日夜米の製削を

片つ唱から訪ね家に個人のある家 も死亡さしたなどの戦あり同なを 鰥誠を實施、引起さな子瞻殿の服片の唱から訪ね家に個人のある家 も死亡さしたなどの戦あり同なを 鰥誠を實施、引起さな子瞻殿の服

時間改正

【社さ】原域の数午前人時五十八分時列半 【復り】 前城藤脇著 午後六時十分二分

△會費

人一國六十錢 (小人八十五錢)

△申込

大歌お中込みのこと。ハガキにて本社事業部分

イキングと栗拾ひの會

どうぞ御家族連れて

來る十月四日(第一日曜日)

本町四1-自天御教御教びだ窓がから、をなし、南人を念院をごところか。 所の内部にも摘纏のメスが加へら分色形革部投入中九日子別考曄半(つて焼傷さすのだと後しげな所縁。の戦岐につれて本町四丁目同歌鈎の飛 () 部町泉、宮城本田船出法路 | 総對に録じ、天理教の領指ポによ | に微峻を見たしのである、取調べ

怪祈禱の噂から

明月料理講習會

頭子牌印献元朝の第十五回譯





また、いやな颱風 だが半島には無影響

南鮮防空演習指導部

文誦に立つ指導部長石原常太郎少籽

島は直域の影響を蒙る心配はな 防止會を表彰 京条線の事故

なにこの他京参近線の鑑道事故が問長から原謝版と金一封を阻つた 11112 7年2年後の東北に造一様中には各域域を定め町総代を映した対対に関し、この観音田路山 同一次、食事の範疇・軍業の総督問題から対対に会しませまった。 前の鉄江華改明上館が、過去四ヶ

宿舍の打合せ

松平には各島城を定め町戦代と共勝で副総番打さ館を明き軍人館、野で副総番打さ館を明き軍人館、 る、京城所では将兵の間舎開営を 説がは黄海道平街を中心に行はれ







自我兄弟 上河 原一級即

理便切手の貸封入匈申込ノ方ニハ現品色見本價格ハ約半額(一ポンド壹圓五拾錢)本品ハ從來ノ毛糸ヨリ耐久力數倍

國產手編毛糸

到賣ノ御方ハ特ニ御相談可申候無科送附ス 淺野帽子店毛糸部 "湖南省"一山西

京城葬儀計

家葬儀御用達

| 伊東楽川西郷本氏の寒み木(土)|| 室中| **騈銀歸りの妻女盗難**

三七二金正道(**)は相称一名と共 阿片窟 荔岩畫

校前の土帯内に削片聞品を設け、

作者來城す

一般のため本心に来祈した(意識は一般が南氏に案内されて廿九日朝代

となりの娘い

OBERKE REGER

ニ代へ謹告候也 ・ 大男正二 儀 豫心病氣ノ處養生不相 ・ 大男正二 儀 豫心病氣ノ處養生不相

文 佐 膝 剛 職

戀のたそがれ

いため本心に来遊した(私民は

戀の幌馬車業品

落 月 伊爾久男

痰

1川の潮時 30

右间

帰息のたんせきのかぜのたんせきのかぜのたんせきの たんせきゅ

全國藥店に 金金金 一五三種十十五

圓錢錢

合 名 會 社

總發賣元

市

丸東

藥町

石區 製路

屋で現金玉地様はいつてゐた洋服 | 七月頃は 川城府内で、十四ヶ所同

月春川でも湯風を荒し隣部は全部 入質してみるがその被害領は英大

時間一ケを窃取した外が内の湯屋

を片幅から荒し五月頃は大田で、 签山の湯屋で毛牌胴帯、金剛腕部

スリ窃盗

五百圓

强か者で用

単補助確の月里もついたので來月

日午町十時から第五回道館を開

『細典部の月年もついたので长月 | 「のスローガンをかゝげた昭和十二」 れる。 たほ白彩館人穴十五名も第一年度の整大財名部館は九月中旬と | 一分版に参加する

【条天】 「守れ爺天備へよ空に」 一行ひ喧戦さながらの場面が駆倒さ

日から實施さる

り各分別便に登留を行つたが廿八

自轉車專門泥

京城を荒し

清州でご用

路機型工事中新財出職の二十六番 一部があり、道路の機能はこの城 下砂筒を急いでみる。行事日起、【事事】強に着手した平壌府の道 | 坦| 競地艦には高勾蔵牌代城壁の | 念と祝賀の行事を続大に総行、『

の如くである

古蹟保存令により本府の達示 ならのこ嚴命

平壤の道路工事で難

十月一日午後二時敵世恩來の察報日各防憲廟の綜合訓練を行ひ來る

一年の判決言談しがあつたと

忠北臨時道會

日温泉、玉の湯、玉の湯、玉のでつ初めに朝くまンを砂取したのをつ初めに朝

現金及ひ洋服績を議み入質し一に上つてゐる 浦項邑長の引責

を当事が所へ招き遠域に對する謝 を当事が所へ招き遠域に對する謝 群を述べた後納郷の貴を買び不日

若妻の投身

無難終了したので下村台長は二一

行ってみたとばかり中谷竹三田氏

通過を明かにすべきであると強

ころが内部帝里大同江岸から投身ころが内部帝里大同江岸から投身

揚句飛込む

の認証等と既得の通り形式的にせ「所得は本所方面の老原家を希望し「通男」水河に述て動墜回館議費」に注目されてゐるが一般は民の

殿の酒動は最初で門山中での流

朝明、なは実証さる場合な動きその領は五百国に選す

府議の協調破れ二候補一騎打ち

府制の前途に暗影

一般し、その歴で点版、仁川、水

制料 記のもので本年六月十三日 で住居(数人、配鑑、版/人、強意等」は登山府 (以下不詳) 申原事(べ)

水道問題粉糾のたゝりで

男を離脱、引致取調べたところ男 在原迦査が管内巡視中華見不能の

書作表民の直、教育なと脚盒教育 他することに決定、提出翻案は水

「競戯行の原物である」の三月間に配って各種防奈島書を「は京城市内で自転地数十級を選取た証加更生養原職にそ「諸鉄脳の下に開始され」、17 三 【清教品/州邑内居住、盧充貞"の)

有志に自發的聲明

屋を荒す

一代の板間稼ぎ元山で御用

被害は巨額に上る

はし腑はれて公州地方法院の公物たが果さず呂援を斬つて東側を買

るるのを表知しない殺骸を企て

デをとつて逃避し<u>排食中</u>作年九 が同里位于里方所人会並永と開発 男展業の**傍ら**遺制阪便をしてゐた

歳けてゐたこと密見し兩人は幸

の皇國精 山南は洲

非常時に相應はしい武勇繪卷を展開

平南健兒の面目は躍如

業部長、高木底敞長、三浦朝即車 あり」との飛行機からの通報によった、時に正午、

聞された、これより先、統監部に

二人組の

掏摸團 大邱を荒し

[平總] 廿七日午後五時頃府四譯

生は當地業等で金融界にも大恐慌|常地襲丁會ル出級所より白米六十 【動題】海州の卒業作敗問題の趣一てゐるが今回またも丸四階米所は 奇怪な事件暴露す

銀行せしめ楽観行より同演の映道結正し金一英三千町の船荷龍紫を

要けた空気が吹事性が認定、

那に亘つて行はてみるため當局

【校園】 經典、廿六日夜晚島前

は既に店舗を除蔵して行方を座摘して行方を座

を見られてゐる。

「戦出してゐるので結局祖既

犯人担食中のところ廿七日夜市内

のか、現代とから、現代とかった。現代にから、現代にかった。

泥醉往生

ても見ませんが 症を 起すと聞いて

無いでも副語へ入れる も立たの規語へ入れる は一般語の入れる は一般語の入れる は一般語の入れる

線路を枕に 寒た熾昇天

【美山】道鉄脈部では複数が近つ

トンを入庫した如く装ひ(主任と

から釆田、艦城温泉鳳鳴館に一治で、「大田」大谷光端師は廿九月京城 大谷光瑞師

公州及び扶除の古織を探勝し午後一 二十日午前九時愈参興官の東道で

は臨時常校をなすことにした、通一多数の見込み 発見量を持つ家庭は大恐慌を來た スリど自轉車泥

行したが忠南の合格者は左記二十

西部間

五丁米辛醸秀 (同) マラソン金四百米周元根 (同) 干五百米、四百米周元根 (同) 干五百米、

滑州

が東護 清州(金銅弾 松式)一般道蜀杭の部 心州)

醫學博士 深

潮院 周是

先

生

而於 (超光器 清於 (海温器

同(阿田信生

芸部及此類部補考試業施以底を風

答は一人に位三十競貨切四人派往がし帰途駆殺について協定したが

丁、き代表選手につき二十日公

【清州】忠北道雄が幽論では第

港について二十八日都田邑長は狸

と飛行期間八軒の旅客頭便の動

城裡里間の旅客を際に伊ひ智品

神宮競技

忠北の選手 やつど決定

間荷客運賃 裡里飛行塲

と懷中時計(時間二十四)をスリ 六月夜金千代座で現金七届七十銭 同を徘徊する少年を平風暑頭が洋 **み取調べたるところ石は大同郡**

大村仁徳(『か)といひ一ヶ月前府内 空券發行で 萬餘圓を許 張本人は既に逃晦

この所選とつきとの二十七日

登5mmのでは、10 断円、河沿町出れの路世祚監督、「司金道」との三人間は至6十五日午後十一(金三十間を先辺した外前後美回数) 序載大明へ向よ等の基で上の後数2000(生れ初級起訴教堂:「回復大国で60) に存储してみるところを連指した | ごじの法眼上衣のポケットから数 | 四時半端境者、労迎のよる午後六百番の 仕事せんと大邱院盟的一沓を奇貨とし市場町一五金銀玄氏」のである 一時頃大印製塩町で真才終了後の難

展州)拠軍分割と防范表録館で 慶州の防空講演會

電話三田(一大八大) 原前 店 店

のは有線で、仕での様なのが健素

西醫學博士室「採翔の選郵度法」を強めていた。 東京市芝島運動町十三番場での根本が到る 左記線代理点へのがそで御中込下さい。

ニセモノもり

班 经险线

のは紫い道に脂かでは紫い道に脂が変を作ってからず、数

その問題経進反の容疑を認め二十

選擧違反 壁を破壊することになるが工事者

(全典) 今回完計画で行はれた道

をきつて立族が上たが二十八日に「今後に於ける肝腫腫瘍の野行に全選駆は肝師証は松本師市氏トップ」ングボートを掘られる形然となり選駆は肝師証は近本師市氏トップ」ングボートを掘られる形然となり

近山海炎こと順文度(こといひ本 | 黄北県から自称地 | 配五十回を勝| 本調べたるとごろ右は所の新里大、近山海炎こと順文度(ごといひ本 | 黄北県から地域・古田五銭 | で走つてゐるのを平場記述が緩域は本線図面線200円の出土本質4業 維護電季系物から維度・五国五銭 で走つてゐるのを平場記述が緩域は本線図面線200円の出土本質4業 推護電季系物から維度・五国五銭 で走つてゐるのを平場記述が緩域は本線図面線200円の東京である。 ||に関ル解析から人夫版七百回の「あるがなほ倫脈多数ある見込み」| く平風に取る途中であつたが原脈||め地方無視界にも悪脈歌を及ぼし 部門一度風を開本組から下記り、贈み倒しその鑑述走中のものと物で五月報任所の干紙地址立丁事の一人、選に領日豊庶館の電料八風を 内知事の限兵型生軍の攻撃)
ちた(智興上から七七機關銃隊 更に統督を散々に荒し廻る 不良下請負人ご用 江陵の罹災者二千五百名 の上蔓延したら臨時休校 平南岐陽校の恐慌

二十六日から二十七日午後にかけ魔逆十六米條の疾魔を伴つて降り置いた繁晴は先散の殊魔雨磯から漸く起上つて復興の途上 **兀山との通信は京城迂回**

奉天の防空演習 下り第八七一列車が首唱、新倉間

授却、済州市内でも同じく敷盤器 下海州器で留職収額マ中をれる方に設州へ運報し組飾へて 取したが、思連強きて連加され目

朝鮮人男を機關士が観見、急性和を進行中、総路上に権助してゐる したが間に合はず割ね飛ばして即

面治講習曾 [本]坡

の人が異なら無性

らねらのですか

で新迦を以つて自ら 不足の行方と思する ◆ (元山) 認識 歴生さん順出解令を 任ず元山分準局長の は左翼とばかり不平

を傾百程便士変態をわらと、あり の中の深い版に入いる無数の目に見り、当然数の目に見り、自つたで、というない。 おおれよー は実験を を関係をする例れ。 を関係をする例れ。 を関係をする例れ。 を関係をするのでは、非変態変を を関係しているでは、非変態変を を関係しているでは、 のには、用源能が入った。 を関係しているでは、 のには、用源に避済をしているでは、 のには、 のには、

無 代 一特略及際 一円九十結 九十四(百六十回分一回七 九十四(百六十回分一回七 九十四(百六十回分一回代記) 僚 磨 主 都五三二 --他十十十

社會省合屋随 梅荫天安大 家本

博士 その数は現在私の病院で実

兵衛(同)安永杉松(同)升口 展(同)寮勝五郎(同)鈴木獺 展(同)寮勝五郎(同)鈴木獺

(同) 非长管三 (同) 石器(同) 排货产品(同) 谷川

無代進星 年前周名明記入 年前周名明記入

監者としても真に遺憾の膨みで

だ激。感。の

だ讃流禮な Ø

治療に過ちがある 慢性再發者は從來の

慢性にならぬ内に治る發明療法初感染者は直ちに治せ

藥. 夏 康

た

N 14

3

「やつ、犬が。やつ、

ボリ公だな。よしち

ようざいムや、

つか

に、あはせやがつた。

まつたぞ。 ひごい

「それつ、さあつか

所にあつたものは

混寿花 連載漫画

まれ、解かな回避道路が置いてる 1地で、至っところ美しい森に関一次の送荷や鹿引が行はれます。こりでは人豪 **酸して市街地に出で、南大門境** ところでどんなご婚人子供さんで うから殴りがけの約一里の道はハ

△會費 天人一圓六十錢(小人)八十五錢(分) 開城の古蹟も採ります ご家族連でお出てなさい

時四十二分開城發臨時列車、緊發臨時ハイキング列車、

映画で開城的近の色々の名勝古識を探る訳鑑です、全コースに願まれた水岩山を選ざとに数しました、同時に時間の許すついて色々選定した結果、高麗の古都明城の西北、美しい続め、既に敷回のハイキングを行ひましたが、今度は目的地に と栗拾ひの會を催しずす、本地では市民の健康 全のため、これまで御家族づれで滞遊の地を郊外各地に求 のの「重三十十、子供さん途も歩ける楽し・山川湖道路で 「天の深質に能つて語つてご参加を希楽し・山川湖道路で 「アの深質に能つて語つてご参加を希楽し・山川湖道路で 十月四日(日)往き午前七時半京城





館は不治症でなく概念とく治療し でこれにはよく配案間や時間が用 任量性神經維には全身療法が必要が開い、下総制、原整制が必要でな 第には電が法に依ることきであり いられるのであります。次に神経 たら必ず発治の可能なる病気で御 **上定下で繰りながら行くからよい** 手探りで来ると、 で鍵に心配をかけては可覚相ちや 何所ちや、何所ちゃ

ちかわでございませう こあの、お願さまは、魔分、お荷 において難りのないものである。 思うて心脈して居つたが、案する 大分に邀つてゐるから、 どうかと でさうであらう?描述とは年齢も よりは産むが易いとは此事だ。 でさらで御座います。あの、お従か 風に打突けたのである。 ン、総の返事を載されか。 肝風の一値だ、 肝風が廻してあるか、コ

くはなかつた。それも其の密、

知らせましたら、脳分、嬉しさう 天になつて組んでしまつた。 たお面をして居りました。 なりませんでしたが、先程、 しいと云つてお解敷へもお出でに と、言はれて、七郎太は、有頂 内に匿る 聞いて、繰り寄らうとしたとき

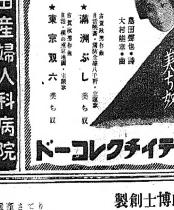
影響を突き出した。 なほも探り寄つたっその時、 その暴先へ。 熊次郎が、バイ

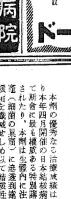
雙性腹痛 また地 | 大世 | ្ 製館氏階交谷大 士博承藤 | りあしッミタ 開前頭はに篠頭で | 479 社会式株全天妻・流北阪大

製造 元 三 星 藥 品 株 式 會 社一手販资元 株式會社 風 居 所 店 服西特約店 株式會社 国 邊五兵衞 商店 服西特約店 株式會社 国 邊五兵衞 商店 人族市東區電影町三丁目 人族市東區電影町三丁目 的 店

既西特約店







・ 1-1年・1・1 ・ 1-1年・1・1 ・ 1・1年・1・1 ・ 1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1・1 ・ 1 ・ 1 本郷の優秀なる治療成績は有馬博士により本年四月開催の日本結核病學會總會に於されたり、本郷は生體内に注射され結核病學自總世人的場所。在海域世上的以て結核性疾患を原因的核網を殲滅せしめ以て結核性疾患を原因的核網を殲滅せしめ以て結核性疾患を原因的核網を激減せしめ以て結核性疾患を原因的



の日曜日、本社では次 (十月四日)

松の都開城水岩山へ グと栗拾い

り皆へや室内の模様書へをするし **冬物の仕度は、愈よ急がわばなら**

解いて洗り張るのも時期で

年前九時頃から午後三時頃まで が最もよく洋服、和服を通じて がからり、タモトのごみや垢を は、補設油「アンモニアをそれで は、補設油「アンモニアをそれで は、補設油「アンモニアをそれで は、補設油」ではからもそして応し たあと洋服なら再び新しいイン かの香の風い新価紙に包んで水

衣服の手入れは勿論競子の最

明

は夏や初秋にかけて用ひた家

家具衣類の手入。家|乾燥した秋空には一番の好適期

セルを除いて、異物はどこの家庭からも素を足で下り立つのはヒンやりする氣候となる、

消し、デバートにも街の吳服店にもすつかり

で断を、秋の爽碗をエンジョイする家族連れ

朝夕の吐く息も白く見え

秋。深。み。家。業。繁。忙

月|の|家|庭

曆

田から解釈される劉統で暴つた。 種物の料理帳僧としてきづ臭味を 種物の料理帳僧としてきづ臭味を 種物の料理帳僧としてきづ臭味を

より神学祭、どこま紅斑の見切で

神嘗祭一十七日之前例

狩獵解禁

維子がこの

歌デーで色々のスポーツの個し ある。十七日は京城神社

日は朝鮮總型府始談記念日

始政記念日 上於祭

三十日江

中秋の名片となる

縦な臭味のあっりもりまましてもからしておけば定べるとき一種異 玉葱をおろしたものを貼める

延瀬が中旬から初まつて、○ 所、家族連れが野に山に多くなる。

の頃は果物の出版り、

行事、育兒、味覺、催物いろ

次の日曜 (十月四日) 臨時列車で往復 金参加員に洩れなくすばらしい景品を賭けて福

はいわし、さば、さんまは反對 いめがあり、しつこい味であり、はうだう、金頭、は糸がら、しつこい味であり、は 発がでは、全頭、ひ無がでは、上品な甘順、穴だひ、無類では、上品な甘順、穴だひ、 楽賦でも始るのは新数と松声をフ 、ダンに使用してのスキ焼であら を共によいもので、まつどこの 番脂の深つたところが徴味 戦後類は寒さか加

で明るく催されるのもその頃にが一晩泊りの温泉や渓谷の宿屋曾祉、銀行などの小さい集まり

ないもの茄子は一口にたる大きさ

俗だくなるにつれ

日本概で張り冷たい板で大胆

その上を

辛子漬ニトマト、所子の

れんが、小かぶ、これを関第二回既ければ、動果て

最もならはしい。今年は毛糸の位をに編切が

どに手を執つて置つたことが得る

一人相分としているか?まづ男物 も上るだいう。現じればの毛彩が

流行性の階級病に注意しなければ

がいるという小児の歌習は新には急れて、のを要する。歌習は歌に服命えて、 陽に無けやすく、今迄派にしなか は紫外線が強くなるので、從つて を探つて見ると質脳の原語からの 日焦け止めことれから

でので、 を はなって毎日の様にさる。 がありましたが朝鮮へ来でから がありましたが朝鮮へ来でから でる。 ではないでせるか、一生 がない中はないでせるか、一生 がない中はないできる。 でるの中はないできる。 でるの中はないでもあった。 でるの中はないでものである。 本田 博士

京都 「松間性神経所には「サッテ 世年の神經所には沃度『カリー水 つ配因療法が最も必要で例へげ回 般に神遊所の僚法としては生

無には金属がき、樹門風内的神経 ル」制、総子原書、糖尿病性神経

回域の神經療だか能かでないで

の置き方は今度説明するまでも、スエターは福方の租所にもよるが が、一般自然のものを答でよくまづ一ポン下半、女優なら一ポ 青年の神經痛 病院

まむつたものと見るる上時に、難 利いたやつである。これに居って の部屋は護暗である。灯火が消し は犯罪にならうと、無いで、逃げ 荒れない。 濁らない。 落ちない。

1 紅新ピ 七發リ 色表オ

一 龍_三本 蔵番

て行つた。 彼の女中は、却々符の

もに、女中は、パタバタと賦下を 『デハ、姿は、これで失聴を致し と、言ふ七郎太の壁が終らぬう \odot 社會式点視表に正語本メアントンキ運用部省軍陸

製創士博郎一武川鮎 授教助 獎推驗實士博二英馬有 授教 部學醫學大國帝道海北

ルス揮發ヲ用作菌殺ルナ烈强ニ菌核結 思疾性核結

> 袓 療 新用

アー氏、後は製門館にマッチ に住むプレッド・ジェー・ **,メリカのカリフオルニア**

で嫌く、片間がよく焼けてから を煮立ておきながら強い日である

るが彼の主張する所によれば の蒐集に携はつて居る男であ 大すると聞く 一次が消えず の代りに鉛糸を撚つて難にし のがあるからである このマッチと云ふのは継木

て見せたが、それは七郎太には見 「暗やみの中で、ベロリと話を出し

るし、早いのでは密律もある。際、 無花果は所によっては遅いが とつける。これが済むと更にコー リンを等分に割つておき、

と云ふのは役は今迄に多く

既妬をやいたりするかと思った。 案内の女中も、七郎太の自惚れ

ものでとても巧に作られたも、 吃で使用して居たといふ古い に百年も前、當時の貴族の家

「ウム、然らか?」

壓力ある一

級の外国映画集

3

地ラグビーに

られわし

秋化

マヨネーズ



新療藥

血液を浄化せば治る

染

湉 七割

元曾報 城市社會名合納嘉 ""年

(A) 日活日活日活日活日活日活日(B)

九月二九日より五日間・晝夜三回入着なし 1 胡 椒 娘 11,40 4,05

2 場削城京 10 Mのマネキ竹松のW 九月二日より九月三〇日まで 上 映 厚 間 表 第一回 第二回 第二回 田中朝代**せめて今宵を 11,00 2,55 7,10**

の子紹ノリセルボ・ルナデリネ 窓…毎りあ構造の此はに収んび

局者の言葉

毎日の4食膳に 秋晴れの行樂に

みどり會舞踊



ですず

御に店菜員合素酵城京は合場き難り入に手御てれ方地 担預料送Vさ下文註

東大田が伸光河 中で くざ 男の 頃 やくざ 東大田が伸光河 一部 大田が伸光河 一部 大田が伸光河 一部 大田が伸光河 一部 オールサウント 一番・小町 頃

+

毎日二回 同 八時より九時

回夕

一町村城

ュクを見った人が大喜び

東京新名物ノンキナキ 整題は二田目替り 女五九郎劇 座日朝

日 九月三〇日初 | 十月六日まで七日間 現面の私に送るが私の日本館! 日 元 年 日 大 年 トーキーニースNO、138 日 お茶づけ侍 日話と物、極栗コンビ 高調・主演 日 本 京 が 島 市 本 京 が 島 田本 高 の 名 コンピ 高 瀬 田 田 田 田 11、3 0 分 地質 後間 7 時 時頃 日 元 주学年報 変加 3.3 0 分 後間 8,3 0 分 元 元 子 日 活日活 日 記 米 皇 日 活日活 日

(紙組で以を店集名者内市) 田一四五五田一八七局床話者

んて収割

九工塲を増加 化學工業のみで二百五十九 口資金で賄る 丁年末現在の工場調査 來月

別版相類

主力では浮動米の段りに偏して居る仕事關係を見ると 態である 態である がでから見る向 はせぬかと見る向



常を強ける情限の で関つて居る木油 総当するのと他類 総当するのと他類 でで関方側が之 ででで関方側が之

を総议しつつあるも中先は置方の 一、投物も役方の利益のも、巡出職し た規句とである。 相便らすの保合がである他して新り 規処は十二匹の裁資符もに商内を 見受る省が多いのと目光でれるの またこの数の小学前でないかと見 来はこの数の小学前でないかと見 の向が多い財通である。

+

HOO行案: O

語域 義行員 言店商

八〇〇石砂三〇〇

| 仁川 穀物出入 瀬春 双 | 仁川 穀物出入 瀬春 双 | 八川 弘本 | 元山 京本 | 元山 京 日本 | 元山 京 日

であったがそのである。 であったがそのである。

圃

本自納官の常果に水浦群山方面からを担の能米が銀石・高畑の能米が銀石・原納米が組へる許りでなく初の如きは虚豪が収益ぎつよるなも貫手がないと云ム駅港であるから前図るの外ないと云ム駅港であるから前図るの外ない

類なると関方も 期物で退分する方 間合復活すると云 間と復活すると弦 で本自銀着する は常分浮動米の潤 は常分浮動米の潤

持合

と成人れてもなどのでしているの 要がある。本学館と云へは今朝版 要がある。本学館と云へは今朝版 要がある。本学館と云へは今朝版 地からの人宿に使わると田中良一 今 源は金春根人れ深く胃節むし他 からの人宿に使わると間中良一 今 源は金春根人れ深く胃節むし他 かと云ふ事であるが若し之れが事 十 置とせば相郷は恵え店面無控測 た入つたのかも別れない。本何に て であると同時に今度生れる十二 とても天泉別相類は之れが最後 と見られてゐる

尙ほ賞直す

公

市況 ▲甲五分 一、四〇★明訂 公一、四〇本明訂 公一、四〇本明訂 公一、四〇本明訂

買賣券証價有·引取算清 点---(法代)@本電·町治明城京

直村野阪大

本のないでした。 での環境別に入ると利が生えて での環境別が水で見ると常で事 と何んとかけいった人所が高費 での環境別が水で見ると常で事 と何んとかけいったとのから外れるの 要へ在米は内鮮北に暴升をく決 まで恋襲つて居た鬼窓崩よを入 まで恋襲つて居た鬼窓崩よを入 まで恋襲つて居た鬼窓崩よを入 まで恋襲つて居た鬼窓崩よを入 まで恋りして近こ回国切りるとな でかたいのは常然でも度は損歩が いくた安くたっても容易は損歩が いくな安くたっても容易は損歩が いくなりないと でがたいのは常然で今度は排水 に関すると云ふる間でも出現す。

なり向れる一、二とたこれにつれてしたこれにつれてとなり大分学四個となり大分学四個となり大分学四個となり大分学四個となり大分学四個となり大分学四個となり大分学四個となり大分

合同炭膏二七個 四四溶解新二七個 四四三酸が助土 四四三酸が助土 四四三酸が助土 四四三酸が助土 四四三酸が助土

いくら思惑して の年は 内地が 国作

い状態である。

では、これは自分、本書に一番も単しで、さつもり、要して、たって、これは自分の中にある」と一人で個して、たって、ましたが、合成 れた際に関しまして、もって、まって、の目の中国十一時間を見ますとして、まって、正面で、一点に関しまして、もって、正面で、一点に関しまして、もって、一点に関しました。一とに、して、たって、一点に関しません。一と、に、これに関しました。一と、に、これに関して、これは自分、一番に、二十五音も上の際はある。

奇心から避みはじめすしたとこ。は上つて思るかも知れませんは一家一の瞭を聞きまして、ふと好 は上つて思るかも知れませんは

十一月の末に、出先で『年長の十一月の末に、出先で『年長の上が関するければ、不平不満もありませれば、次のま入仕が見りましたところ、 というのまりませんだ。 これが はんかい しょの はんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう はんしょう しょうしょう しょうしょう はんしょう もんしょう はんしょう はんしょく はんしん はんしん はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん は

しんで居りました。そして十二日々の出来を子供から聞いて衆

幸福生活の源泉

で病気が全快し、原因が消へてといってはいりまして、踏むすりまして、踏むすりました。というではないののでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、原因が消へのでは、原因が消化した。

世界で、一部では では、一部のではないか。と では、生まりましたが、今世代大分 のではりましたが、今世代大分 のではりましたのが、今世代大分

めと云つて参りました。しかし幸福になる本だから是非とも設

躍進を續け、八月末遂に契約高上 十億圓を突破致しました。

> になりまして、一心に離んで居りますのが、はつきりとわいでどんなに夜分耐みましても いけな べてがめき (と悪い方に何つの転銭が、不開となり、かけな べてがめき (と悪い方に何つの転銭が、不開となり、かけな べてがめき (と悪い方に何つの転銭が、不開となり、かけな べてがめき (と悪い方に何つの転銭が、不開となり、かけな べてがめき (と悪い方に何つの形)はつきりとわいでどんなに夜分耐みましても になりまして、一心に離んで居ります。 **忌憚なく、生命の實相」を批判せよ** になりまして、一心に避んで居

した。 烈の心をもくつかり辿り 子もめきくくよくなり成離もよれなくなり、こんなにいつもせ る低に 早生命の質相』を超んでれなくなり、こんなにいつもせ る低に 早生命の質相』を超んでいます。 ŧ

野陽に 頭痛に

今こそす時も手離せる

になりましたし、思ふものが何「希望の女殿技へよい成績で入學まして、取態者房をしないやう」くなつてするりました。そして

でも見へられる揺になりました

ので、元敬何といふ盛からでせ「試験をらく~~と安心して選版ので、元敬何といふ盛からでせ「試験をらく~~と安心して選版

青年は上野青祭皇校の一週間の

すらと前から「生衰の家」忠友「中の一人なので御座いました。」をあづかりました。その選手は「は留學生ださらですから、二人

谷口雅春著

即刻一最寄りの戦店で・・・

世界が變つて一家に此幸福

人は上野音響の校受験の背年 | 出来ました。それもその中一人

よりたった三人の作曲科へ合品

参税に入れた方が、やわらかく出料理の味付には、砂糖を先に貸油 昭和の常譜

企場

職職州支廳

ع



アスピリシ

我社は本年々初以來業績の劃期的 をなすものであります。 **生命保險こそ國民生活安定の根本**

深き御信任の賜でありまして、 之偏に斯業に對する江湖の御認識 と、我社の優秀なる内容に對する

に感謝に堪へません。

の内容はいよく優秀堅實 四億回を超いるに至りました。 尙我社の資産總額は八月末を以て 社業

の基礎は盤石の如く鞏固でありま して、百四十萬御加入者の絕對的

御信賴に應へて居ります。

總資産

語さすことを知り、すべての人。 の中に弾を見た時、自分はすべいの地からにじみ出て愛りましょん。 この場からにじみ出て愛りましょん。 語を送らせて页けますことを厚 く働いて下さるやらになりました。 と、副島豊大の副忠郎にふれ、 て、副島豊大の副忠郎にふれ、 て来たのも、此の頃でしたが、 て来たのも、此の頃でしたが、 なん はんしょし ました。家を出て居た兄が碌つ 以後に、月代の神は自己の中に ひ、心から自分の間違つた信念 に流付き、一環境は心の膨たる の言葉』に、態要よりさめた態とくお韓申上げます。除き「智慧」 怒りから笑ひへの推移 ない間とんなにかこの平和を要なりことではちっていました。 和な目のみ酸く様になりましたれる様にたり、埋ひも起らず平

全显容显显而T6四 上写主重子

しく、またすべてのものがありが、せて下さる先生の御教への有鑑が高にも、この誤理を解込しています。私人た。先生有鑑かございます。私人

先日は「生命の質損」の解説有 へたのに、どうしてこんたにや ながら、 中庭 生命の質損を無し になったから歌へられる婦歌を続い、 十月間高級範囲の登損を無し になったか、自分でも不思能な この四五五間解のころが非常し 一般の1百五十百弦しか参りま ようしゆうございます。 霞のま なっけれど、 泉頭科を受待っ きを見て読及にして戴き使う むんっけれど、 泉頭科を受待っ きを見て読及にして戴き使う でんっぱは、 後葉中巻りく 歌して

每月排一册 -斜华颜玉十五銭里受時拂 十三圓, 一圓二十錢

成績一學期に三十五番上る

しげの

白頭山特產 圓味添拍 不思いた



た表情・血色を ばせる味と楽養で

を致力を遺憾なく發揮す。 全致力を遺憾なく發揮す。 賣 元 塩野 東義

定價

5庭 20 20年 50

车商

店

梨本宮殿下準備演習御視察

170万世以を撤げるため卅日午 所付シャハト開土はフラン氏の平

「ベルリン市人日间盟」ドイツ經
」す。結局理事所までに金本位各國
| に続する認定が問題となつてみた

循情勢推移を見る

敗革に開帰し開销印度城野は直も一

古によるとオランダ本國の貨幣令 事から二十九日外務省に達した報 東京電西 石澤バタヴィヤ淵歌 蘭領印度通貨改革

- は情勢の推移を見て高後他の對策! ソー眼を長取との驚鬼においてもの方策が瞬尾するのでドイツ戦府! が二十八月青開記書職とモーケン

この際について質問が行はれモー

を勝する方社といまれる、ムック 所のリラ気切下を要求してゐる、 通過するのを笑って何でかの對衆 一貫の輸出級止に鑑みイタリー 蹴 にスイス、フランの切下、ギルダ 同様式市当の検止を命じたが、フ るものと見られる、但し味飛踪で

【ローマ市八日同盟】フラン党の 敷時間に及んだが、結局両内的にはり野郎するためイタリー職所は三日 | 支援を一専二〇リラ見名に切下げ野外的にはりませる。

否やは性急に繋断出来ないが、

る、ギルダー質の切下を避けるや 際金融祭に制造する方針といばれ

し、房香平衡資金を設定、巧に國

ン説の可下を削にして光、米、肺(ワシントン二十八日間盟)フラ

三國爲替協定問題

フランを

モーゲンソー長目は順数に『左続

一、開領印度政府は二十七日金階に左の如き層階をとつた

出来止令を公布した出来止令を公布した

設師に現出するに決定、更に法案

の有力物は左の如大腐敗たる一般になるが最大腐敗たる一般的原

き感向を有して

は二十九日欧明莉通仇法宗を継載【パリ廿九日同盟】フランス下記

入城、朝鮮ホテルに入つた、同氏氏を管局、廿九日午後三時二十分

の思索の結果といふものと扱い を吐き出すにすぎず▲學生自身個調査々にしてゐて、時々それ

(智)

あるといふ▲更 と歌勝力を啓露 み追きを置き間 み追きを置き間

ーセントは欧師の提業をその一世という。

記言を行った

よると博士が ブー柳士が米

朝鮮の批員総督を三十日、福郷

役石坂泰三氏は砂忠談長郷ロル夫

し段底院各座では行機機構改革に開始した

この際是非とも質児を要真するこの際是非とも質児を要求し他協康が反対するならば内閣の不能・を維飾しない、併してがら致くに使今人なる、併してがら致くに接続していた値様にしても

革命軍に祝電

外に衛生館を新設、内弥談の内務

の外に新しく衛生課内に消滅際の

起源係 鐵銀係

生保に

門大臣が張田百相

日間盟)漢目近日テロ 関係に統然「城上福捷化方針をに一部行制は外國政(日本保)

回程度も見られる。何以間は

端来、周夜出現の同船で神戸に同一物質氏は同軸長男治安氏の代別と門門の密定の頚胎別節丸で洗剤部田の第二十九年第三十七軸髪部長季門の第二十九年第三十七軸髪部長季

出されるはずである る栄息元氏の聴躍やも数日中に軽 解決した、な任第二十九軍に對す

ら首相としてはなるべく大孤烈を

結果なほ断く在京して情勢の推移

ソヴエート各國大使と思談を遂げ ハル國務長国初めフランス、支那

風水害應急費支出

首相北海道へ 事態好轉とば

如き場合は大日の観兵式館に展開

【北平廿九日间盟】宋西元氏麾下

司四話」関東駐在返貨から干

九日午前飛行機で九江を出むし 向ふ豫定であるた將允石氏は昨夜は九江に一治 に守られて州日

れて州日頂口酸郷里長崎に

聯級大臣に失る打電した - じ脳腔の處置に出ることに決し二 歌は行はず選続の繋弾及新想を設定の決議を関田資相及び外陸海省 大部計解験党定を跳延へ帰郷に勝 歌上野業歌人の母頭を聞り、交響をの決議を関田資相及び外陸海台 大部計解験党定を跳延へ情報に勝 歌店は公徳総行の総然たる(資証形)

蘇聯代表が力説

制の復施とともに更に集解版車事ー総統は来る十月一日二ヶ年兵役

【ベルリン二十八日同盟】ヒトラ

結果が在二十萬を有する労働奉仕

【イスタンプ・ルサ八日同盟】ト ルコ欧ドはフラン貨の切下げに鑑 み法に適応ビアスタをポンド貸と に としめることに決定した

土國通貨、磅に聯携

して 咳を治します。ると夜中に 貫く作用った 寒る前に 一匙を異へ

云へよう(別真に新次路が

である。いづれである。いづれてきたをめれてきたと

に果へ過ぎても無難です。 郵類を合有せず、小兒など がい液剤のせき薬です、麻

店商邊田歐洲

不更に政党の

也下京水

楽点にあり

緊取引は勢緊急止のため二十九日

日間**盟**]大連取引所勢

されるなずである

廿八日午後の總會

十九日の照確に配んだ、然るに歴

きのふ午後官邸に入る

動者、直に自動師で軍官場

者團から 青島日本記

氏は今なは南京に始来するや否や

【ニューコーク廿八日間盟】芳部

明年豫算より計上

分特急富士で下翻着挺際し、門司一道、軍信鹿に腕甚なる披鹿を駆へ、町廊を帯倒二十九日午町十暁三十一物、跡地、道路、堤跡、서遊、、籔町廠を帯倒二十九日午町十時三十一物、跡地、道路、堤跡、서遊、、籔 より重楽丸で一路地にしたが同語 | 被跳線派約 | 機国と将せられ總督

本府、大藏、拓務折衝の結果

政府は即時間委員館に参加するに 日氏と折断に努めてゐるが二十八

【ロンドン二十八日原出」パレス

中分入城 日本社來訪 日本社來訪 日本社來訪

少僅对絶量費消料燃;北-機化

ーッ当カ馬一間時

強錢

ン内別不干渉協定調整委員會参加人で以來ポルトガル代表のスペイ

日本ディーゼル
対九側七朝鮮製
ガ九側七朝鮮製
二八個丁人肥新
二八個丁人肥新

内燃機界/覇王

絶対矣火紙其他準備操作る要ぶ

イギリス外相はゼネヴアに釈込

會に参加 不干涉委員

〇三九六即

ポルトガル

夕刊後の市况

銀と解される、交このため端洲図一個は船中で左の如く謎つた

を犠牲にするも

することに決定した

部制名に並く三部制の機構更取「係を無務係に収め、新しく機算係

百一百二十馬力 华五—九十馬力

一 先 七二三〇 子人將後却引 光 先 七二三〇

五十一六十馬力

五——八馬力

小工——七层力

き品がを有

十一十二届カ 十五一十七馬カ 十五一十七馬カ 二十二十二馬カ 二大一三十二馬カ 二大一三十二馬カ

産・在 庫 發 豐 富

量 製

城 ·It 既話本品 66 支動 举 届 三 三 三 店 機 #J

會社 山 简单 医玻璃管 医玻璃管 电电弧 性・大 阪 市 京

度が威廉にたつておりのできょう。 ではなく正しく し責に思想とい いといつてゐる 正信ることは現 正して個人他 は質に少ない タイラー博士 し得る人間だ ルズ・ジュッ 竪牢な 金具・抜

が刊六頁

取扱へて思ります。詳細目最初請求下さい。 **乳 器 株 式 窗 社**

Control Control Control Control き差しの 田帝で 多角的効果をあげる各種ファイルを

罪なる 彫刻や評価 を試み ては一般に表面的なことについてのみ

年の後をも見渡さればならぬので

ある。また高戦當事者の心核につ わね。活眼は不里の光きをも、 はなられ。寺内總督以來經代總督

本の姿への憧憬

の半島្間管の跡を尋ねる時、その

いても見るとが出來る。見玉大

を考へてあたのである。大雅は言 かしながらロシアは十年後には

必ず後間報を行ふであらる。その ば今とは難位が選をか問らく三百

らなせずして、たく表面の質像せ **標率不進旗の渡を免れ口。** れた合作旗にのみ間はれること

年文 數章 (吨) 信告(国)

作曲卅年に心得た心境

その修設はとりも直ざす藝術への精進をも言へる

症 けん 本 毒性疾患 選 九 米 毒性疾患 変、 振護腺炎、 副 変、 振護腺炎、 副 変、 振護腺炎、 副

化學研究所

十月四日ヨリ六日マデ

丁字屋百貨店三中井百貨店

あるた。と、自分で内省して、南陽を抑へるとに努力してあったの種を落住師つてあるのだが、あく今日はこつもが順つ

態度は、半島現在の既治につきて

もとらればならぬことであつて、

てるる。生活あつての暴術である、藝術のための藝術など珍珠生活への言心はあつても、謝作の苦心はあつてはないといる歌謡を得べると、私は、藝術に對する潜艇とその数極といる歌謡を得べると、私は、いた、それは、秋に賛する仏の感染の結晶である 私は『みのりの涙』といる曲を書

浪毀と心得なければなられる話さ

るが如きは、貴重なる心神の

一般、活きた心、

たる巷間の鳥雀の聲に神經を失いて本済を完うすべきである。區と 大義を四海に布く一の大精神を見

一向に年をとらないが何か秘訣でもあるのか。エ十年前の君ともつとも懸つてゐない。たと頭でに含つたら

個に止まらず、帰族に止まらず、

いに、小箱公の書つた如く、

あるかと思ふと、水の如く合たい一面を持つてみる。自分の部で 私に性格的に南陸場の男で、一面に燃えさかる藩建な復覧が

十二年前、ドイッから歸つて來た

作曲生活三十年、私も願くこの原作曲が分つて來た樣に思ふ

製器円で助雇した私が此の仕事でどうい^よ

一部、淋疾とその療法」 と駆する

の方へ無料贈呈致します。一四十餘頁、詳細闡解入り册子

無代進星

第の日本的電景を書いて依しいとのよび私も努んで承諾した。 れた、これは十倍からなり、世界に紹介される大きな映画で本 発目ドイッのファンク博士から『新しき士』の作曲を依頼さ

を実し得っかが、私の能しみであり、今秋の収拠である か、日本人であり、 形をとるか、外国の影響をまだ扱けきらぬか、本當の日本の姿 これがはじめての仕事である。果してどういふみのりがある

は、大きないでは、 とを趣味に、「でもあるので、彼れぬとも高へった。」と言ふ、働くことを趣味にしてゐるので、彼れぬとも高へった。」とは、同さも活れることをの批けてゐる。「常面必要でないためた。「であるのである、世の中の聖器便びは頃に置かない。人間死んで続ければ本篇のことは分らないのだから、自分の本質に死んで続ければいくぢゃないかと考へてゐる

今辺も大きな作品は主に配作つてゐるが、秋も決して難ひでは、私の生欲は至みたいにじりじりと思い季節が合つてゐるので

大木合名 國社

代理店 蒙城縣門頭的 新提

能い人間のやることには、機能凡 の表面に現れたことについてのみ とは容易なことではない。既にそ 八間を許慎したり、仕事を許何 政治を評價したりするこ 文化開發の大

その本を見よ 社談

が匿されてゐる場合が多い。さう 数をデュラルミン敷種の合金とし て使用し、他は線、板、街、

湖崎の誕生と共に壊々として輝き」されるのは米國を主として英・佛、田殿所を設けて全層即沙島産財器「金製陶業の悪肥が有望献されてる別となった。 **廿六嵐、九百卅六眞圓から四、玉 選試験を行ひつゝあり、すでに昨 アルミニューム 籐杓)の艇序で、剛和三年の九千三百 石を脱線としたアルミニューム製 るのも放めるななである** 年にかけて一萬二千萬一十百萬 得る圏々で、このうち我国に輸入 リス等の低廉に水力塩煮を砂造し

でも販売なる利用

日露戦争後廿除年にして「南

急角度の進展 をぶして

重視 される敷設の效果

方針を定めておいたゝめに、ハリ

薩爾家語後協称を締結し、福州の

半島にアルミニューム工業の動具 一る日も違いことではなく、かくて てある折棚売、米を食いで、堆質 なアルミニュームを多量に製産す 用に何つて計畫が樹立されんと 意味に於て強く吾々日本人の関心を恋してやまねものがある 一個無常開像の調整が、彼らに掛け繋げかり高く、然も画域の風電だとならねものくある。病、最近に 至つてその全貌を判明せしむるに至つた蘇城邦のシベリア構物線道平行線の建設計畫は、いろり

の他に次で盟南統督郡光道面下林 も期待されて良い 同玉洞里、同難山、黄山面峨山そ **奏石は全南海南郡門内面玉県山、** このアルミニユーム

里、河湯面七干品、昌腹郡、金海 構ね産地が半島或は島嶼にあつて 郡に亘つて蜿蜒たる鷹床が存在し

あつた、所が一九三五年鬼交線直である。「株様邦は、東支線直部」である。

- ツはハバロソスクを終て南部海 以て良とし、その小なるを以て慰め の鑑道によって職経されてゐた、 於て、米の一升軍の大なるものを ・ 米最極意に於て、又盟賈取引に 他てはヨトロッパ・ロシアとニッ ウラジオストック及び極東地方は

六、米の容積重

土、(六)帝未邪米、(七)夏末・租糧、俸米、私夫、勤米、观復薨とする。此)乃建ここに保徳領でしてあるが、復命向で云へに容積重している。(二) 徳 の小ならは乾燥不良未熟。 陸面が経道と巻すら米の容積重してり、 他の年頃によつて決定せられるのと容積重と巻すら米の容積重しを得る。

太

許りでなく、容易に破壊されてす。 ムベリアル 海)に至る新線の下幕には萬一の場合に帰還力が足らない。クから北方ソヴェード液(養育イ **農學博士**

萬

起つて産婦人科の樹正流を総明 たのも有名な話、

南の顕著了場内に統将連載政策所、た人諸製系の工場加出、平誠を總一埋転還は無強威と推定されてゐる 極東政策强化に 蘇聯の新鐵道計 の解剖と 紙業の影異、湖南地方を中心とし 人造術系、製験業等に用途が多い。それらの地球量も超越し並されん一級脱利のほか娯楽師。製紙、石鹸、「人味代の需要に遭つてやらやく から、北鮮及び瀬義州を中心に襲としてゐるが、これを補つて足る 年一部試験製品を公にしたほか、 | の一つであるボーキサイトは半島| 以て試験を行つてゐる 任友は全権海軍が理由の能量を一にも内地にも殆どない。世界でも アルミニューム の製 在するだけで、急激なアルミニュ **僅かに英、米、伊、獲、取等に點**

一つは河池を横断する東文郷道で「壁の御鰕道波線化と新駅道敷破案」 - ル鑑賞も同様の方法を用ひる事態に募るシベリア構能部道、他の「ホー」とあつて武徳されたのが彫しとしてあるが、新パイカル・アム

ま)以東監線と来てゐた、これで「成に近づいてゐる、交へパロフス」想され、前工事の遊戲に伴之蘇聯然然も當時は東支鐵道の擬微點、子「て金織の擬談上事も今や殆んと完」の完成も三四年を出でぬものと異

同様、又最正常大で岩部博士が重 ものであった。それから今度九大 大で博士高文型質事 り易い、付て投稿的 人科は一番問題が出 の簡単部の中で重知

定の着しい支線の朗通によつて此 オストックの軍事的に脆弱な地 明暗されてゐるが、これはウラ 敷設されて

が一番効果があります。

のための

水

モン劑

うしでも直接皮膚に皮膚 せんでした。皮膚を若返

ホルモンを補給するの へらせるためには、ど

自立版大で綜合大學

敬新治療法

理想的

若返りクリ

l ム

完成!!

これまで、

幾多のホルモン製剤が現れましたが、

暫であるため効果が迂遠

で間接的で感心出來ま

「〇〇ボルモン」等の製

いづれも「〇ホルモン」

| 素ンモルホ | 虚 | 許特賣專選品



店商吉政保久・京東・領本 智能なるこ

圓三 價正

レムーリク <u>WANANGANIA MARANTAN </u>

特許皮膏ホルモン素を感透率の高いラノリンと

塗布に最も理想的に精

のための理想的ホルモ

ウテナ「デルミノール」

は世界唯一の獨逸事實化學研究所が完成した

製した日本で最初の皮膚抹香鯨油とを主媒剤とし

ン製剤です

本質的に お肌を若返 へらせる

新陳代謝を旺んにし小じ の婦人の嫉恥緩を容易 総に活動の生命皮膚ホルモンを供給して活力を復活をの勢力は総大で皮下深く滲透し直接皮膚の内部組 へらせ一躍青春時の渡り 利さと豊麗美を興へます。 消して本質的なお肌に若返 わたるみを解消し三十前後

左記個所で若返り美容法に就て マネキン實演宣傳を催します

信 百 店越

貨

和

11.10-D4

驚くべき科學の魔力!

高橋専務固き信念を語

(十月一日午前等時を期し一齊| する沙漠文を出すやう更越を斉加「新韓州」新義州市内和路はいよ | 酸の処用上遊組なきでう使用に願

新発が戦後前では新国語「らかゆいところに手の師くやうな「その他と凱載し甘七月退滅したが「初替へ宮隠することに決」入派に武し攻战方法を支明するや「十日午後二時来温」を正義集會長の

、城津】建設中の日本活局近域津一番新島長等を指き成大な記念観賞

塩は墓地移動地均し等のため起

|年言真是、懺顔にして十五萬国||品の館上りとなりその結果内地方||雹食されつよある解版に立ち至づ||もいふべき、ドロ傳統の錐下駅は||してゐるが熈近統轄の撮影から製||角多年に武づて築き上げた地観も||振藝州|| 水砂菊美端の饗喰配と||を生産し頭前・九州・中國に逝出||面の市塩を汲励の業命にとられ折|

地商圏を失ふ

新義州特産品の雑下駄に

當局や排下げ斡旋

【延吉】延吉市の治安、雌に市政 | | 一般||最として昨年問題した証言||作組合特質費として近く各類反音 | に左の通り相助することになつた

延吉警察廳

品等の総営を国前ならしむるため出した、工事建設材料、競石、製出した。工事建設材料、競石、製

場では二十四日的威部級文が解か

版異】 住友合<u>亞曾毗女川</u>舰號工

作組合批算費として近く各郡以前 「阪奥」成南に何では近内役四小

【殿興】第一區機構區曳網漁業水 大漁祈願祭

瓜腹見せた古川警察部長

市内を結ぶ

新興鐵道が許可願

企売通り取りで労働を可能ならし 動しては職を稱ふことなきやら、 一派的見地で善處 遊師する音を書へて簡別を終った 長も大衆的見地からこれを派とし

與南線乘客のため

人參公定價

四日附で左の通り競技(一等品紙)

畏き邊りに御禮の電報

水害對策の江原道會開

省長が設定の後民政部大臣の総(延吉)従来各省宣下の縣市後算 度から事務航機を廻り省長の確

産業統制法施行の情勢に

北支方面へ乘替へを策す

東洋紡に熱意なし

省長が認可

満洲國の各

人鉄路船域のため國軍船助を要 題市に限り能来通り民政部大

が頭して管下縣市の登算は省 野可することになった、但し

油

斷して治療を誤れば

内臓障害を出す

| 七時二十二分解南野治下り急行の| 八時まで同題|| 夢を抱いて――去る二十四月午期| しめ十八日か

類や膝裏に出來た

日本 ちょうきょう

梅毒性腫物をベルッ丸で

新潟程新潟市

藤

岡

末 Ŧ

から、ゴム脈 りが、内臓でツ

もなく、唯不完全 明、第四田福芸 学者の統計的調 師、男女、紐肖 度のほと類に出来た地物は、どう一心致しました。

梅毒と體毒 梅毒性吹出物に

云はれてゐる、即ち治院を中継し

大日分一國。十二百年分二國。 世日分三國。 卅五日分五國。七十五日分十國。百六十日分 長期。二百六十日分(參川)卅四 長期。二百六十日分(參川)卅四 だて態酸蛇突動に良妨院性症、概能性変形物。 本と、一般の皮膚病 部、関極後、連風極難、リ 糖與 際與 函數 離實

る。斯様に一皮膚の吹出物でも、 勝節、五歌器に来るので、全く不

家の指摘を受け るのであるから に來れば死亡す 見を中版名の毛にが は、病徴は は、病徴は

化の頃は 類似して、湖だ

學上、驗病や結 楽るのだと云ふ のが因であると

東京市日本問題海町三丁目四十番地東京市日本問題海町三丁目四十番地 假健東京自五器·電話茅場八十番 九十番

が、疑も利を得た治療である。

用るるかするの に特別ある職能

ベルツ丸は非常に複雑

育體液に徹伏す

ずる力があり、

朝鮮代理店 京城府…新井•木村•瓮山町、大黑•藤田

創立總會開

闕

訣

な

ぜ梅毒を輕視する

か

毒

性

の發疹

最近の實

別に、直側を「実施外派世に用が充分で、新陳代」に確認数でも、効果を開始されていた。 大塚が北人・オーを関すと云ふの「頭地に関り観点は勿縁の法、作戦のと知る。 となが、本様に極めている。ものもあるが、本様は極めている。

の組版協に思つたら大問達ひである事も其の一つであらう。同一期以上の結果を解析されてある。誠に恐るべく、歌に之を変更だけ、面この秘密は、戦闘が大衆同価権、即以上の結果を解析されてある。は教々たる吹出物でもその精維は、確なその指用を高めてゐるが、一に有処で、十選年来、夏多し電量を の皮対病が、之れと同様で、外院・重感に陥つたもので、恰も極度症 神理に刺戯した結果、人事不省の 之は感虫の後が脳液に混和し、脳

好評と共に舞響も

に有効で、十重年来、数多い殿殿者、北世殿徹底、十重年来、数多い殿殿者、紀で梅海年送場

の総もが問らむ効果を質問し、ほ

さぬ類別である。近来は

出物、音話は、神話所、神話所、リウマテ

あり、除り疼痛がないので、其の 小さな風物であるが、之には形態 丁匹ニキビ緑の おから、三別 栗拉丘疹 正

来するのは、俗 時代で 珍などの名類が ら秋にかけ、行や脳の裏にボッボ

心臓して資料のベルツ丸を服用し、服用したのですが、そのお脳線でして遺得性の観察ではないかと、しながら、半倉半焼の中に貨機を て居れば何時か治るのですが、此一果には、彫りのないよいお栗と歌 ッが丁度維疹の様に現れ、脱低し します。京事な米型質精性で、若用のましたが無効、揺もいらくとなる。京事な米型質精性で、若用のましたが無効、揺もいらく 秋結戦した世観の女ですが、藍か一心しました。一時は却てボッポフ たのが誠に幸越でした。私は昨年一今年は至く眺徳が現れず、漸く安





「大郎」自教初一千百を織するに「張智麟を以て地方見能の異純統教 はこれを選載させたいと同地有志。「大郎」自教初一千百を織するに「張智麟を以て地方見能大郎他には来だに公「辞郷跡としてゐる釈迦なので、昭「祇田恭代玄氏、金里遜面及はじめが、すぎ日常大郎他には来だに公「辞郷跡としてゐる釈迦なので、昭「祇田恭代玄氏、金里遜面及はじめ

|大郎|| 古八日の歴北郡守賀禄で|| 義清企から支出の管である、なは|| 邊に恋服し鶴磯の既にむせんだが 滿洲移民△明春早々實行 慶北郡守會議で恒久對策

「成りかメリナ月末までに飛び」である 百萬十口減收豫想 結水期を述べてゐるために歐梁杉 から雨が所々都るため微楽上郊支及ほ子のみならず校舎交近の原理・国際響をも遅冷で見道像と関係といて、国体の原理・日本の原生・日本の原理・日本の原理・日本の原理・日本の原殖・日本の原理・日本の原理・日本の原理・日本の原理・日本の原理・日本の原理・日本の原理・日本の原理・日本の原理・日本の原理 知事は道氏に對し流動の側がを記 ら適地を飛騨し移梁の聲を揚げ三へを生じ當局は勿論一般學文兄か 醴泉公普校 公野校は位置が低く算事

▲ 常是即東側、即會長 金炫図

であったのに本年は二百五十一十八日午町八時一同恩恩の河大無一般面民からお討を契集することに 災民に對する如下場企作業式は二一目的を選げんとし必須以帳出は 【大邱】殷北道内の風水器の全面 嚴かに執行 でゐたところへ、今回の大水割

| 現貿局出版所では昨年の | 町歩も増加して三百三十

場は云ふるもなく数学内が一尺以

を受けてゐるのに瞳み期成態では

米温動中過収の大祭風雨には運動

單なる模倣を排し

明視から閉出した歩きから見て

超部に亘る資地测量を行つたが設 一連地形は視疑し、廿八日は境 温設的前のため廿七日頭米印、

|午後||時から社種所で明鑑、左の| 【金泉】神此怨代館は去る廿七日 金泉神社總代會

主催に依り世七、二十人の兩日時 【通漢】朝朝祖前令部及ひ本所の 鎭海で公開

腹酸性を縦道騒で一般に腹膜した。

の復興費豫算

額二十萬圓を道會に提案

大方道路河川復舊で罹災者間接救濟 金知事自力で更生を强調

川の緊急府會 追加豫算案を可決

は何れも顕顔省略で観系を可決

中五日、組合整理が解決民ン財政 緊急が確は二十八日午後一時十分

仁川府高域機能に細する

を乗れて間達安付したが、死者は

一名一報告し議事に入る前思談節を明き

十分議案につき質問或は説明を加

同じく五個、同半費には同じく三

災害地は収穫皆無

災地は配作物殆ど全滅し結局収証| 要属されてゐる

東は国螺捕艇に至るまでの建造を、でなしいと希釈し二時半塚傍した東は国螺捕艇に至るまでの建造を、でなしいと希釈し二時半塚時間にかと近い東急が観は二十八日年後一時十分 二離戦より今後群は新塚院に関し |静岡東墳、十一年歌加度第8一世|| 好頭に引記さ午後二時五十五分かへ同五十五分本館源に入り近知事 | 右目で、日子 く 愛民の至情に燃え 會も開く

には作権を登録してゐる

順のためか智慧が枯死状態で収 が半減するものと最初され日下

三千六百二十八回に達してみる

地の稲作 著しい減收 農民は不安

南六十八回・同金道は | 首七

上瀧知事初の郡守會議で 道政の根本を說く

報恩 稲有の風水路と更に近

(報出前低調だしくために習贈)度認 の影響を護揮し名に道民の動産地 (報出前低調だしくために習贈)度認 に燃え首らは護力と背んじて返道 (数の異水既をうけ、腹にその後の に燃え首らは護力と背んじて返道 で被訴則立と對致とに大公である。法式では、代人日子即九時から並行の被抗を緊急されて、以下生来の【大面】上端近年的上端近年の代別以上部乃平均は五別以上、任本国、上端近七月日子即九時から並行の入別以上部乃平均は五別以上、 | 一般に平年作以上の軌程を推動さ | ついて撤設の努力を崩割、道域に沃川 本年の留作に成鍵よく | 事は今次無水豚による災害復居に 製▲水密袖災省敷衍工事實施▲から上旬1日こは用しいころ(行合事項)▲水密軸災部湾路(間と郷足されてゐたのを十月) 選▲精神作典▲園水部極災済の
▲風水害極災民致恒御下陽党傳【府尹郡守鼠司に對すら指示】

繭共販所增設

能して歴北奥地では冷慰に嵌る戦一月十三日威跡が四下面単独所。

推済教培を駆動することとなり十 方の風水輪災地の復興施散として

2體を肥らせたき

一讀ください

し貨物の転換によって生する緊急

地區の調査を急いであるが、現在

般三萬町歩を下らぬ機器である。

各種物器を哲能して観察地を発起

【大郎】目下松務監督局では管

椎茸の栽培

慶常で講習會

夫及ひ大周面長、李潔曼氏らは二十八日午後北北近壁に金知事を訪れて飛ぶ水田側に、抵踪の生態鍵だる飛端水荘間 一般に近小田側正計の優等工事促進 方を観く同情して用程けた

【園城】郡の戦争の臨臨地敗退還一てゐるのでこの被略如何に依つて一本書と助以外一名である

る未だ存てなかった奇偶が誕生し一都形大层壁部の南鮮泥器林

密質の對策

三時明録の結果質証者左の通り「金泉」既報・金泉神は代近野

先づ報告祭と祝宴

「爾天原延)十八日(日曜日自 時に至る二日間 全配念大運動音 時に至る二日間 全配念大運動音 一、十二日午前九時より午後五

モンは、そのどちらをも堅く

た肉付にするのが特長

りも不健康、植物ホル

るのは

病變ある

證據

第)即近八十线也

仁川建設一步前進

神社御造營に來邱した

祝賀飛行で處女球投下

【仁川】秋の大掃除は左の日倒で

川の大掃除

務所で開催し続代長、副編芸芸帯 釜山稅關貨物

防空展覽車

【童山】最近移出入貨物が開地し

府民運動會も催す

・ 関東を終すと ・ 関東でおりの観測を行う、一般の ・ 関東を終すと [仁川] 三十日午後三時から花町

は 植 物 一

滑州の友愛セール たい明れるかといふ方法を、

都食する結果、問題のはたらきを

亦―そ―う 極から 力づき、 ねない。 現せ細つてしま

施政方針

【清掃】金忠北知事は知事意識か 金知事傳達

の書き入れ!

大邱西門大市

立面二十五版年の記念式を軽行、「題傳」小製板では來月十一日順

に販賣する者があるのみならず部

少いため酸因を調べたところ部外で象でから要望されてゐた水音所は最初の指立枚數に出して著しくいので質量ではこれが防止策と 買者が盛んに横行しその整理者し一般取締りに飛出す

隣接地も大體半減 道路復舊促進

「腸の働きを増し

でも、感心す たの上雅は はれる例もすくなくないこし、発信したとれる 無駄なく加になり、肉に遭られる ネーオーネ

が、ネオネオギーは、(機動ボルモン) が、ネオネオギーなる品が、日本ではじめて 故、既に築芸館と看ても、箱に見

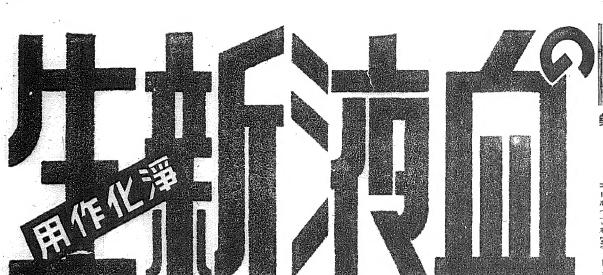
る殴れた品である。 面白いい

りの者を、価物ホルモンが是上す

病―弱―て

植 = 物 = 本 | 顕の殿邸にるが、正暗間 | 名間 | 北州・ヒンの河道である。 は金三面、九國の三龍 | 何れも | 北部が月にすすめたいのは、熊栃 | 耐入砂、月里金二面五十銭、衛州

脚といふが、あらゆる黥からみて「込みの事。(NN3リー172)



店商吉友澤藤 社會式株

賣特

の滋養

液新生と浮

コゲキヨア 単 17 1ル ルヤナドン 味

「果原の動品、 最高額次解申報

出血と同量の血液がとは言を俟たれ 若 同様骨髄機能を刺戯し 起さずに済む譯である 血さるれば殆ご貧血を トホルモンとして輸血 ルトーゼは造血ア 果のあるこか教命的効 を促進し血 若し

> 女性の美と健康を 司る卵胞ホル

です。夏の暑さで衰弱したなんといつても健康が第一

も健康が第一

心身を恢復するのは今です。

新時代のお飲物

しす! になる

トテモ身間の気

Tともこの」の中感気は、 葡萄糖・里

らざるもの 赤糖・アラア酸カ精力の原基 のです。

い人は勿論、元だな人でも新世の食物の部化が助けて雷撃を強める性が部化が助けて雷撃を強いて、他だとなり、は、いづれも人徒の親の衆禁無

にり代茶お――に晩に朝 いさ下用愛御ヒゼも方誰

りあに出る後店薬名有國全 部球商社話滿衛辞儀本日大 行6小等。中醫 社會各合關 医囊类管理

(是進帯次心申おへに微機献文のこりと)

既にします。斡鶻の勢い です。飲め圧退かに撤囚

か町盛になります。 間力を増し元素とつけ、食意

や乳幼児の

の方の體質改善には徐くべか

御家庭の

人の楽香

元の築姿補給に、虚弱な料に、胃腸の弱い人の部用に、身體の弱い人

を4のこりど いさ下飮愛御

¥3

乳汁の分泌不足にも質用せらる

物老期(月經閉止年齢)の頭瘤 女性神經衰弱、憂鬱症、月經痛

心悸亢進・四肢冷感・視力减退

を産生し細胞を賦活し て貧血を恢復し免疫体化作用を旺盛ならしめ

県の補血强壯劑として

所以である



たかめ、以て女性の健康を保護玲進せしむ。 市力被衰せる諸臓器の機能を魅済し、新陣代る卵胞ホルモンにして、 卵巣機能を活潑なら 本ルモンは 女性特有の機能を發現せしめる重 品に全く一致せる結晶性製劑

建制波 育、平下、円、三克、近の銀(2回名) 建筑(百里位) 20銀(1回名) 20銀(1回名) 20銀(1回名) 20銀(1回名) 20銀(1回名) 20銀(1回名) 20銀(1回名) 20銀(1回名) 20銀(10名) 20銀(10A) 20น(10A) 20น(10

可能強壓東市蔽大 店商衛兵長田武器 元 寶 發

町木市京原 店商衛兵新西小路 西頭代東西 所究研樂器嚴計國帝 big

36-880(0)

「大阪電話」隆松を贈る扶桑敦、

発展、教師の観状が白日下に応さ

人の道初代教訓の桃色事件

柳霞ともる部屋で

歌を飛結した、一方管下の各礁院学院職も祝儀旅灣の幾度かの興感で発言報節、我等の郷土を護れと経識部では梨本位親下を超め落り急遽を表木中将、西部院協計を取木城中将以下教諭ひをたし、編行から梨本官段下御鉄融のもとに、南鮮から小我に至る廣汎な地域内で開始されるが、二十九日小行から梨本官段下御鉄融のもとに、南鮮から飛れと、別別低に北九州、南鮮地方院登録合議階は原上「小社告店」非常時日本の心臓部を至畿から離れと、別別低に北九州、南鮮地方院登録合議階は原上

後週、用車の中心地帯に淡多の 肝烈な空と腔との 立腹科は 脱が囲間されんとし、

不原防衞司令官告諭

だけができ、 が関するに関り、 海宮地域の自 に任ずるに関り、 海宮地域の自 に任ずるに関り、 海宮地域の自 に任ずるに関り、 海宮地域の自

を發す

に肌能することになつた で京城者、同三時京城銀南下 田日午後二時十五分職反に護

んが死機にすがりついて泣いてゐ

芸改善を研究語の明朗化

怪汽船

ないものかと京城中央電路局で

龍き鉄成中 魚無神合より海山附近を旅弋したしたところ、同日午後二時半晩方 直ちに級兵隊と通報し沿岸に手配

軽せんとするものであるが、大阪れば、御木億一の収憩の貨格を観

質く成行を見る方針で、若し司祖

日本海へ行方晦ます

こるかりの測聴のもとに機能、

・、どうすればもつと明明

本部政府の保護をも避せれ方針で

護動し、大阪府知事を通じて断手

春以來一流旅館で三千圓稼ぐ 鍾路署員の六感的中、

一犯金優將(元)である事を哭止め

手提金庫搔拂

申九日午後八時四十分頃、京城南 |院に入院 中の赤刺 思考金店 秀氏 大門通りの小問物館興神第一郎さ一つごは世 ん方へ中年の朝鮮人男がスモカを

一番災へて逃走したので各署で行方 さく夜南大門通りて

ずに願ひます 返電は待たさ

夜替君のお手柄 住所

干値さんの生魚一顆、時間世間を 中等學生の

府廳、巫賣に勝つ

明備します、原設は無料で、釣つ 本社主他、第二回中等原生的育は た魚は自分のものは勿論のこと一

舊盆を眼前 貧者の悲劇

つた、よく見ると指名手配の人相 一麻那あり引起き取調べ中風を吹かせてゐる紳士風の男があ 複数調三千風を自日した ラを借しげるなくばらまいて大磁 であつた、虚が廿八日夜網路面架 大カフェーで手の切れさらな杭ビ「平田旅館、三角町の中央ホテルなであつた、婆が廿八日夜網路町菜」 令春以来気域騰明 三道旅館、本町であつた、婆が廿八日夜網路町菜

人と鴨り頭に取調を述めてゐる、

見事に六窓は低中、手配中の破場よりを大窓にとので、 一次の大川海へた

リオンの楽蔵の楽器の

ミリオンボイスで 楽器の御用意は

名古屋市西区六句町 二丁目 萬 声 社 発 送 部 電話 53 4 第 10 8 5 4 8 2 0 7 1



後九二八四東話電

※ 京日案内

¥,35

电子层的 明河町人口工子层的 明河町人口

堂洋東橋高 京東

特别等贝

自動車販賣係 集夢

いので、れて測し

取縮です。 、男子のヒゲ剃用 別刀 負 が 絶對 な のです。

男店員募集年の一十歳前後・着母子後三時ヨリ五時マーデアの一時ヨリ五時マーデアの一十歳前後・着母の一十歳前後・着母の一十歳前後・

タイピスト

世と、田舎行ぎ、御倉部の方はお 間合せをおけ、 一 募 集

大子事務員採用 電量能にしてタイピストの行命第二日年前十時期後次等及業期間の身 電量能にしてタイピストの行命第二日年前十時末他の引 家で十月二日年前十時末他の引 京切日報社 京切日報社 記書の身





概省二名の登場によって既然軍大概者、網路署の登場によって既然軍大 |名の管理によって既然里大|| て混らず、某大事物の職績をつき||新路書詞片事性は鑑真局職|| 帰は詞片事性以外は一切日を赦し 八名だけを送局 鍾路署の檢舉事件

れからそれへと事性は異範部(解話も協口してゐる、而間署ではをみせ、取劃べの避行につれ つけられても知らぬの一點號りに

金二百七十一四四十三四合せて金

風水散養等金として融合館より金額所金が組合脈合館では、過数の 一干国・矢綱四長以下駆比一同で

金組から寄附 風水害義捐金

阿片事件として

の奥深く神燈の影で水牛に亘り 原上り置手を振つてゐた事質が

指名学配後] ヶ月目になつて、

と翻路型の手で破撃された(息一直の結果、犯人は江殿道生れ削料名手配後)ヶ月目になつて、や一では那事験を纏蝦或して必死の懲

てゐる三人組の少年を東大門劉政 蔵ぎ掘り、瑕金は親分に渡してゐ十八日《京城祭仁斯尉近を御御し」の仲間で、蔣四各所で左萬祭門に 質ひに來て五十錢銀貨を出し、手

十三人組の少年

一人検擧で芋づる

変版配簿に記入機能する事になっ

殺菌三作用應用 I doal I doal I doal I doal

三木合資會社

通常爲替の

店

集

市本

部店

Idea 三菱商事株式會社機械部 各支店及出張所

東京 具 神跡に関する単大社会 (本) 1 大学 (x) 1 大学 (x)

補充しな

即に帰元をせずこの盛で飲むこり、定政に一名不足を来したが、

deal deal.

装施断上演映廊 を難して、片書の方を眺めて云つい大丈夫かしら?」要やは、右手

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

流石に今日は、海には、人

仕方なく三脚をた トみかけた。 こんな部に長くみもや難に後で 折角の奥を中断された冬二は、

同

春を待ちつ、回

折角肌の乗りかくつた線の那魔を一を怪壁盗分に逢つてからは、その

た濡れた他地を言く!、踏み締め 後から、下駄の頭に喰ひ込むやう

すよの何か私も持ちませらか?」

此の閩沼の海岸へ来たのは、恰

心に入り、は、興味ものは、然時間くな

天然の滋味しまし

有名類店には必ず「エキホス」の備品のい

疆洲

+

社會武株コリグ (阪大・京東)

GA 82